

ふるさとにっこり通信



自民改革会議員
静岡県議会議員

あつ ゆき 県政報告 らち淳行 報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

第21号 2017.3



平成29年度当初予算 組織定数改編方針

総合計画後期
アクションプラン
最終年度

予算の規模

一般会計1兆2,058億円

一般会計の予算規模は、対前年比351億円の減少

△2.8%

●教職員給与を政令市に移譲する影響

△358億円

●その影響を除く規模は、前年度並み

+7億円・+0.1%

特別会計(11会計)は、4,743億10百万円を計上

●公債管理特別会計等の増により、対前年度比240億15百万円の増加

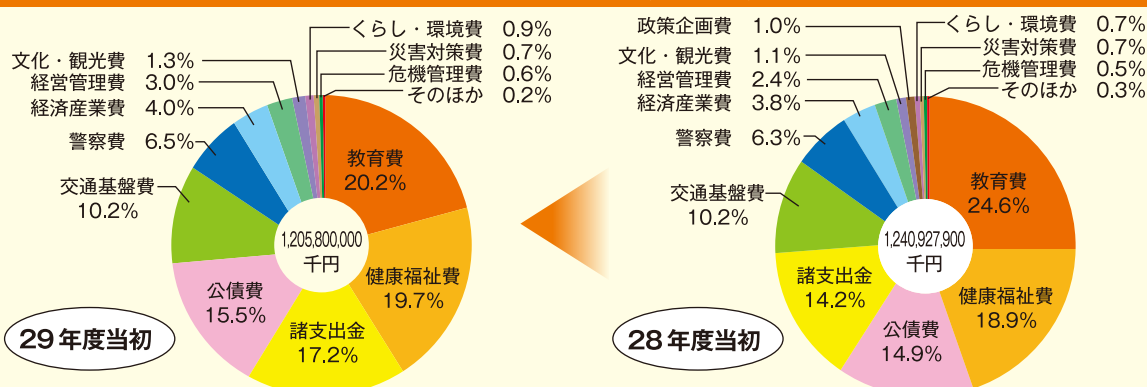
+5.3%

企業会計(4会計)は、605億44百万円を計上

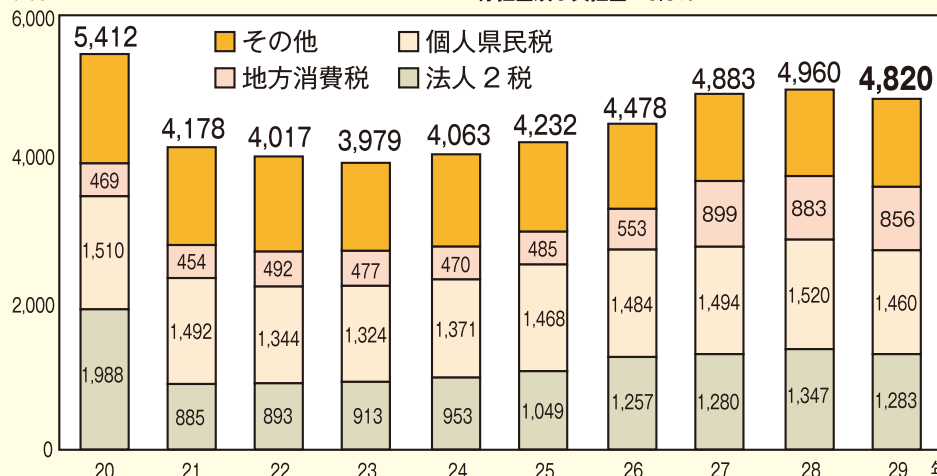
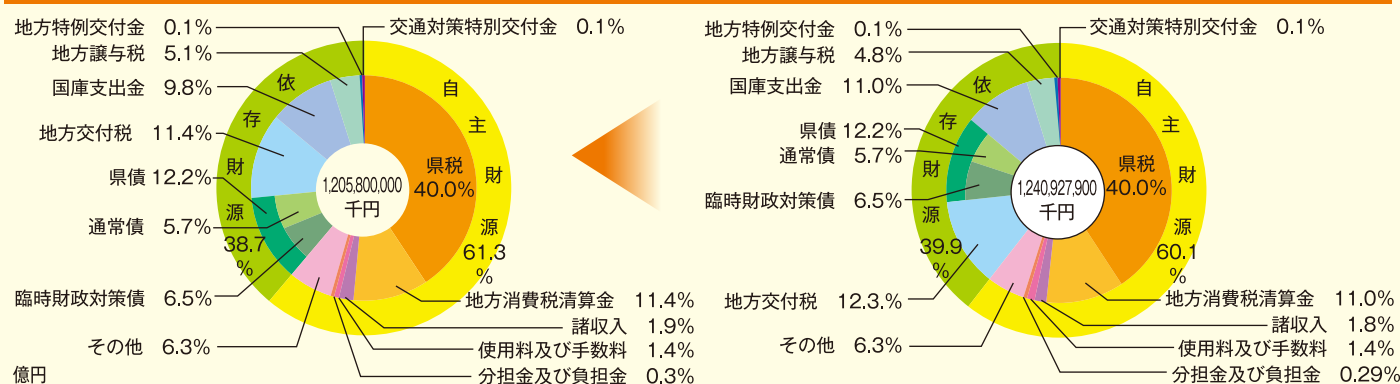
●対前年度当初比41億85百万円の増加

+7.4%

歳出予算構成比(目的別)



歳入予算構成比



県税収入は6年ぶり減少

●県内主要企業の収益動向、最近の徴収実績の推移等を基礎に、税制改正の影響を勘案し、前年度の当初予算を140億円下回る、4,820億円を計上しました。

年度末県債残高

●通常債の残高は、平成21年度以降、毎年度減少
●県債残高の合計も減少する見込み

※20年度～27年度：決算 28、29年度：当初予算
※21年度以降、法人2税の一部が国税化(※別途、国からの地方法人特別譲与税を歳入計上)

『ジャパニーズ・ドリーム』の展開と発信
総合計画後期アクションプランの最終年度を迎え、その総仕上げを行うとともに、世界から憧れを呼ぶ『ジャパニーズ・ドリーム』を展開発信する予算編成と組織改編を行います。

富国・有徳の理想郷
ふじのくにに
づくり

富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり

※事業の一部を抜粋しています。

方針 1 『ジャパニーズ・ドリーム』の展開と発信

戦略 1 スポーツの整地づくりとスポーツ王国しずおかの復活

- サイクリストの整地に向けた裾野の拡大や快適な走行環境づくり
- 国体上位入賞や五輪選手輩出を目指したジュニアアスリートの発掘・育成
- スポーツの整地づくり**
東京五輪会場アクセス道路整備事業費……………9億1000万円
「安全・快適の路」緊急対策事業費(新規) ……………25億円
- 王国復活に向けた協議向上**
ジュニアアスリート発掘・育成事業費(新規)……………2050万円

戦略 2 世界水準の次世代産業の展開

- 医療健康、食品、光・電子、CNF
- 農業分野における先端技術を活用した研究開発
- 医療健康、食品、光・電子、CNF**
ファルマバレープロジェクト機能強化事業費 ……………1億1000万円
フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト機能強化事業(新規) ……2065万円
- 農業分野における先端技術を活用した研究開発**
先端農業プロジェクト関連事業費(新規)…4億3240万円(2月補正300万円)

戦略 3 世界に開かれた観光・通商・外交の実践

- 観光、産業分野等における海外需要の取り組みを通じた「稼ぐ力」の向上
- マーケティング戦略に基づく県産品のブランド力強化、販路開拓
- ブランド力の強化**
静岡茶トップブランド・プロモーション事業費(新規) ……1000万円
「静岡わさび」ブランド力強化事業費(新規) ……………280万円

戦略 4 世界クラスの資源の発信

- 富士山、お茶など世界に誇る地域資源の磨き上げ
- 豊かな自然、風土、歴史と調和する美しい景観の形成
- 魅力の展開**
富士山世界遺産センター（仮称）整備事業費 ……25億6080万円
- 美しい景観の形成**
美しい茶園でつながるプロジェクト推進事業費 ……………1235万円

戦略 5 すべての子どもを大切にする社会づくり

- ひとり親家族や生活困窮世帯の子どもへの学びの機会の提供
- 官民共同による、外国人の子どもの日本語教育や高校生の海外留学などへの支援
- 社会的養護自立支援事業費**
社会的養護自立支援事業費(新規) ……………3900万円

方針 2 “ふじのくに” づくりの総仕上げ 後期アクションプランを推進するための 8 つの重点取組

1 大規模地震への万全の備え(地震・津波対策 AP2013 関連事業)

- 建築物等の耐震化**
プロジェクト「TOUKAI-0」総合支援事業費 ……………11億5000万円
- 命を守るために施設等の整備**
「静岡モデル」防潮堤整備促進事業費 ……………8億4800万円
県営漁港整備事業費 ……………3億4350万円
県営漁港海岸整備事業費 ……………1億300万円
- 救出・救助等災害応急活動体制の強化**
震度情報ネットワーク更新事業費(新規) ……………4400万円
大規模な広域防災拠点整備事業費(新規) ……………5400万円
- 地域の防災力の強化**
避難所運営マニュアル改訂事業費 ……………500万円
国民保護実動訓練事業費(新規) ……………500万円

2 内陸のフロンティアを拓く取組

- 防災・減災機能の充実・強化**
「静岡モデル」防潮堤整備促進事業費(新規) ……………8億4800万円
- 地域資源を活用した新しい産業の創出・集積**
水産物産地市場施設整備関連事業費助成 ……4億7686万9千円
- 新しいライフスタイルの実現の場の創出**
荒廃農地解消保全管理農地等創出モデル事業(新規) ……130万円

3 新成長産業の育成と雇用創造

- 産業基盤の強化** (2月補正)
次世代自動車・IoT対応機器開発支援拠点整備事業費(新規) ……7億300万円
創業者成長支援事業費助成(新規) ……………2750万円
小規模企業経営力向上支援事業費助成(新規) ……………1億円
農業コンサルティング推進事業費(新規) ……………900万円
荒廃農地解消保全管理農地等創出モデル事業費(新規) ……130万円
新たな流通体制の構築による水産物の魅力向上事業費(新規) ……700万円
- 人材育成・雇用促進**
介護職経験者復職・代替職員雇上事業費(新規) ……………1950万円

4 エネルギーの地産地消

- 新技術の開発推進**
ふじのくにバーチャルパワープラント構築事業費(新規) ……2910万円

5 人口減少社会への挑戦

- 産業の振興と雇用の創出**
地方創生インターンシップ等推進事業費(新規) ……………1000万円
- 夢を持ち安心して家族を築ける環境整備**
ふじのくに少子化突破戦略応援事業費(新規) ……………1億円
- 子育て支援の充実**
充実子ども・子育て支援給付費負担金 ……………86億2100万円
産後ケアサービス推進事業費(新規) ……………330万円

6 多彩な人材を生む学びの場づくり

- 多彩な人材の育成**
静岡式35人学級編制 ……………県単独措置40人等

7 健康寿命日本一の延伸

- 安心な健康福祉の実現**
地域リハビリテーション強化推進事業費(新規) ……………1300万円

8 富士山を活かした地域の魅力づくり

- 地域の魅力づくり**
富士山静岡空港機能強化・魅力向上事業費 ……………18億700万円

平成 29 年度当初予算について

平成29年度の当初予算については、県税収入が6年ぶりに、前年度当初予算を140億円下回っています。そのような中、「スポーツの整地づくりとスポーツ王国しずおかの復活の戦略」に多くの予算が計上されています。しかしながら、県税収入の減少の中、要望事項は多く100億円を超える項目があります。健全な財政運営のためにも、しっかりとひとつひとつの要望について把握をし、本当に実効性のある施策なのかをしっかりと見極めて行動をしてまいりたいと思います。また、継続して取り組んでいる内容としての、人口減少・少子高齢化対策、防災・減災、水産物、農産物など地域資源を活用した新しい産業の創出・集積、教育対策等についても現状を把握し、積極的に行動してまいります。ご意見ご要望等につきましてもぜひお聞かせ下さい。

方針 3 将来を見据えた戦略的な行政運営

- 健全な財政運営の堅持
- 時代のニーズに的確に対応する機動的かつ能率的な組織づくり

平成29年度予算 知事提案説明に、 らち淳行の質問内容が反映される！

らち淳行の質問内容が知事提案説明に、多数反映されました。

漁港の津波対策について (防潮堤について)



知事提案説明

地震・津波対策アクションプログラム2013に基づく防潮堤の整備につきましては、「静岡方式」の前提となる地域住民の皆様との合意形成を加速させ、計画期間内での完了を目指してまいります。来年度は、防潮堤や水門等の津波対策施設の整備が必要な112箇所のうち、約4割に当たる45箇所において、工事等を進めてまいります。

静岡方式35人学級編制における学級編制の下限撤廃について (多彩な人材を生む学びの場づくり)



知事提案説明

小学校、中学校の全学年で実施している静岡式35人学級編制につきましては、児童生徒一人ひとりの個に応じた指導を実現するため、1クラス25人の下限を撤廃し、36人以上の学級を解消

してまいります。

下限の撤廃を実行するには、教員の確保が必要でありますので、来年度は、小学校3年生及び4年生に必要な教員を配置し、平成31年度までの3ヶ年かけて全学年に広げてまいります。児童生徒に対するきめ細やかな学習指導や生徒指導を行う環境をさらに充実し、学力の向上やいじめ防止などにつなげてまいります。

静岡ツーリング ニューローのあり方 (外国人観光客の誘客促進について)



知事提案説明

外国人観光客の誘客促進につきましては増加する訪日外国人観光客を本県に効果的かつ確実に取り込むため、1月25日に、本県の「観光を核とした地域づ



くり」の舵取り役を担うDMO「静岡ツーリズムビューロー」を公益社団法人静岡県観光協会内に設置いたしました。

各国政府観光局のインバウンド事業に数多く携わり、世界の観光マーケットに精通した総括責任者 府川尚弘氏の下、世界から選ばれる観光地を目指す戦略を打ち立て、具体的な取組を本格化させてまいります。

本県のインバウンドの施策の司令塔として、伊豆、中部・志太榛原、浜名湖など県内各地に

県中部連携DMOマーケティング責任者にクックパッド元部長が就任することになりました。



DMO デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション(地域観光の戦略を練る組織)の略です。静岡、島田、焼津、藤枝、牧之原市、吉田、川根町の関係者でつくる地域連携組織は2016年4月、県内で初めて観光庁から「日本版DMO」の候補法人として認定を受けました。

設置が進むDMO等と連携しながら、県を挙げて観光振興に全力で取り組んでまいります。

中国市場における 誘客促進について (外国人観光客の誘客促進について)



知事提案説明

中国におきましては、昨年締結した、大手旅行社の凱撤旅遊との覚書、スポーツイベント等を運営する智美体育団との協定を最大限活かし、本県を周遊するスペシャルツアーやマラソンをはじめとするスポーツツアーの造成・販売を促進し、中国から県内への誘客促進を図ってまいります。

活動報告

静岡県屋外広告物審議会

静岡県議会産業委員会委員長として静岡県屋外広告物審議会に出席しました。

伊豆半島は、静岡県の中でも特に変化に富んだ様々な美しい景観に恵まれ、富士箱根伊豆国立公園に指定されるなど、日本を代表する観光地の一つです。

また、東京五輪の自転車競技の開催が決定し、世界ジオパークの認定を控えるなど、世界中から注目を集める大変重要な時期にきています。

この伊豆半島の美しい自然景

地域のための継続した活動が反映される

瀬戸川・朝比奈川下流河川敷の 浚渫等について

日頃の活動において、私が目指すふるさと暮らし満足度日本一には、地域の安心、安全な生活の確保が基本ととらえ、様々なご要望・ご意見を自治会の皆様から率先してお伺いし、真っ先に自らが行動



し、継続した行動をさせていただいてまいります。静岡県が管理する2級河川である瀬戸川及び朝比奈川の浚渫等の要望についてもお伺いし、平成23年より地元自治会関係者の皆様とともに要望を継続して行ってきました。

この継続した行動が反映され、各自治会長から提出された「あかつき橋」下流河川敷の樹木の伐採や、瀬戸川の浚渫が行われることとなりました。これにより、河川の維持や衛生面の向上が図られることとなります。

地域のみなさんとのふれあいを大切に、自ら動き、この目で確認し、直接要望等をお伺いしています。

彩、大きさ等が景観と調和するよう規制強化を行います。

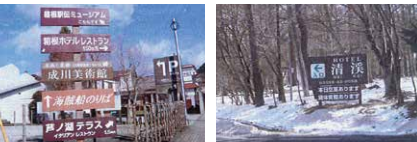
今後は、中部西部にもこの流れが来ると思われるが、課題もあると思われます。十分に検討し、焼津市の観光対策に反映させたいと思います。

伊豆半島の現状



規制強化(色彩・大きさ・集合化等)

箱根と山中湖の事例



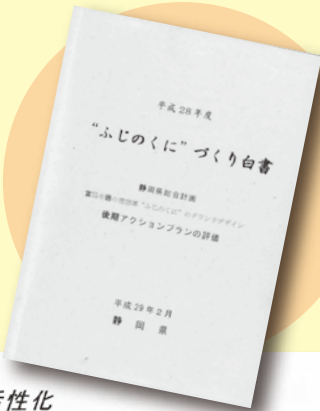
もっと良く知ろう！

本県が重点的に取り組み施策の方向性等を県民の皆様にお知らせし、県政に対する関心や理解を深めるとともに、行政への参画の促進に努めていくために「ふじのくに」ふじのくにづくり白書と美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生 総合戦略評価が作られました。

「ふじのくに」ふじのくにづくり白書

平成29年
2月発行

後期アクションプランに掲げる数値目標の達成状況を平成27年実績等の最新値に基づき確認するとともに、9つの戦略に掲げる「主な取組」をはじめとする施策の平成28年度の進捗状況を踏まえ、今後の施策展開の方向性をとりまとめています。さらに、「ふじのくに」ふじのくにづくり総仕上げに向けた重点取組の実施状況や、「地域づくりの基本方向」の進捗状況を踏まえた今後の施策展開の方向性、評価結果等をふまえた計画の見直しをとりまとめたものです。



3-2-7-(2) 地域コミュニティの活性化

1 目的

住民自らによる主体的な地域活動を促進し、地域コミュニティを活性化するため、市町と連携し、住民が参加しやすい地域コミュニティの環境づくりに取り組む。

2 数値目標の達成状況

数値目標	基準値	H26 評価	H27 評価	H28 現状値	H29 目標値	区分
県民の地域活動への参加状況	(H25 県政世論調査) 73.1%	(H26 県政世論調査) 72.6% 【基準値以下】	(H27 県政世論調査) 79.3% 【A】	(H28 県政世論調査) 73.6%	(H30 県政世論調査) 83%	C
コミュニティカレッジ修了者数	(H25 までの累計) 640人	—	(H26 までの累計) 712人 【B】	(H27 までの累計) 799人	累計 1,000人	B

参考指標	経年変化					推移
コミュニティ施設整備率 (整備済地区数/整備対象地区数)	(H23) 59.0%	(H24) 61.7%	(H25) 62.7%	(H26) 63.3%	(H27) 64.4%	↑

3 投入資源（関連事業の事業費）

単位: 百万円

部局	主要事業	H26 決算	H27 決算	H28 予算	合計	備考
政策企画部 (経営管理部)	コミュニティ施設整備費助成、県コミュニティづくり推進協議会助成 など	81	65	84	230	
合計		81	65	84	230	

4 主な取組の進捗状況

取組	26年度	27年度	28年度	29年度	進捗
市町コミュニティ施策の充実	市町職員の専門性を高める担当者研修会の開催 ・研修会2回以上	・研修会2回以上	・研修会2回以上	・研修会2回以上	○
地域活動を牽引するリーダー等の養成	コミュニティカレッジの開催 ・カレッジ1回 ・出張カレッジ2回	・カレッジ1回 ・出張カレッジ2回	・カレッジ1回 ・出張カレッジ2回	・カレッジ1回 ・出張カレッジ2回	○

美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生 総合戦略評価

平成29年
2月発行

平成27年10月に策定した「美しい「ふじのくに」くにまち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況について、計画1年目に当たる平成27年度実績等の最新値に基づく5つの戦略に掲げる成果指標の推移や具体施策（施策パッケージ）に設定した重要業績評価指標（KPI）の達成状況、今年度の取組（重点事業等）、今後の展開を取りまとめたものです。

活動報告

歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島



- ※歯舞群島：北海道根室半島の延長線上3.7kmの沖合から北東方に点在する小島（貝殻島、水晶島、秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島などからなる）
- ※色丹島：歯舞群島の北東方22kmに位置する島
- ※国後島：根室半島と知床半島に抱かれるような形で、沖合16kmの地点から北東に位置する全長122kmの島
- ※択捉島：国後島の北東方22.5kmに位置する全長204kmの島

自民党北方領土問題を考える議員連盟として、北方領土問題の貴重な語り部が焼津に在住しておられることから、県庁で貴重なお話を聴く機会を設け、私も参加いたしました。

焼津市在住の語り部による 北方領土講演会



北方領土元島民 焼津の2女性講演 自民議員連盟
自民党北方領土問題を考える議員連盟は6日、焼津市在住の北方領土元島民、榎方澄子さん（76）と渡辺ヨシエさん（75）を招いた講演会を開催した。2人は2016年11月の日合議で進展のなかった領土返還問題に就いて、「自由に島を口にした」と、いすれも歯舞群島の出身。榎方さんは16年5月、ヒザなし交流の一環で水晶島を訪れた。心を持ってほしいと訴えた。

よつとしたが、ロシア側から許可が下りず上陸できなかったことを明かし、「寂しい思いをした。子どもと一緒に暮らしたい」と話した。渡辺さんは連年の上陸や本土に渡るまで、収容所生活を振り返り、当時の恐怖や苦しみ、当時の恐怖や苦しみを語った。「先祖の墓が向こうにある。せのために、周囲に声を掛けてほしい」と話した。領土問題について多くの人が関心を持ってほしいと訴えた。

静岡新聞 平成29年2月7日朝刊（県内政治9面）

第4回親守詩静岡県大会

親子が一緒に短歌を作った絆を強める第4回親守詩静岡県大会に参加しました。

短歌は万葉集でもすでにみられるように、五・七・五・七・

知事賞柴田さらちゃん

静岡「親守詩県大会で表彰」
静岡新聞 平成29年2月16日朝刊（県内総合22面）

静岡新聞 平成29年2月16日朝刊（県内総合22面）

県知事賞受賞作品

しょうじを
ビリビリやぶく
たのしいな
やんちゃむすめ
げんきいちばん

作者
静岡市葵区 柴田さらちゃん(3)

ふるさとにのこり通信

自民改革会議 静岡県議会議員

第21号 2017.3

らち淳行県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

らち淳行公式ブログをご覧ください
活動内容をご報告しています

検索 らち淳行 思ったこと

<http://rachiatsuyuki.eshizuoka.jp/>

発行 らち淳行 事務所 静岡県焼津市一色 488 TEL 054-631-6123

